

**スタートアップ振興に向けた
経団連の取り組み
- Keidanren for Startups -**

2025年5月更新

一般社団法人 日本経済団体連合会

スタートアップ委員会

- Society 5.0に向けては、ビジョンドリブンで課題解決や価値創造に挑戦する**スタートアップ**を振興し、産業構造の転換や産業の新陳代謝を図っていくことが不可欠。
- **スタートアップ委員会**は、**Society 5.0を担う企業群であるスタートアップの振興**に向けて、2019年5月に発足。

主な活動

活動1. スタートアップ振興のための制度整備

- 提言「スタートアップ躍進ビジョン～10X10Xを目指して～」
- 提言「Science to Startup」

活動2. 大企業の行動変容

- スタートアップフレンドリースコアリングの実施

活動3. スタートアップと大企業の連携促進

- Keidanren Innovation Crossing (KIX) の定期開催
- 経団連Startup Slackの運営

スタートアップ委員会

Committee on Startups



委員長
南場 智子
NAMBA Tomoko
ディー・エヌ・エー会長



委員長
高橋 誠
TAKAHASHI Makoto
KDDI会長



委員長
出雲 充
IZUMO Mitsuru
ユーグレナ社長

企画部会

Sub-committee on Startups



部会長
齊藤 昇
SAITO Noboru
BIPROGY社長

委員

事業会社のオープンイノベーション・新規事業担当の執行役員以上（～社長・会長）、スタートアップの役員以上に限定

活動

役員必須のハイレベルなネットワーキングイベント「**Keidanren Innovation Crossing (KIX)**」の開催、スタートアップ振興政策の議論等を行う

スタートアップ政策タスクフォース

Taskforce on Startup Policy



座長
出雲 充
IZUMO Mitsuru
ユーグレナ社長



座長代理
松本 勝
MATSUMOTO Masaru
VISITS Technologies CEO

委員

スタートアップに限定（非会員も参加可）
＊会員のスタートアップから推薦を受け、かつ、座長が認めた場合に限る

活動

ワンストップで様々な政策テーマに関してスタートアップとしての意見を取りまとめる

スタートアップ躍進ビジョン

Why Startup ?

社会課題の解決やイノベーションを生む
仕組みとして最も優れたスキームの一つ

昨今の状況

- わが国においても10年前と比較すると起業数も総投資額も大幅に増大、制度面も徐々に環境整備も進む
- スタートアップ先進国はその間にもさらにスタートアップ振興施策を打ち立てている (Faster-moving target)

2022年3月15日

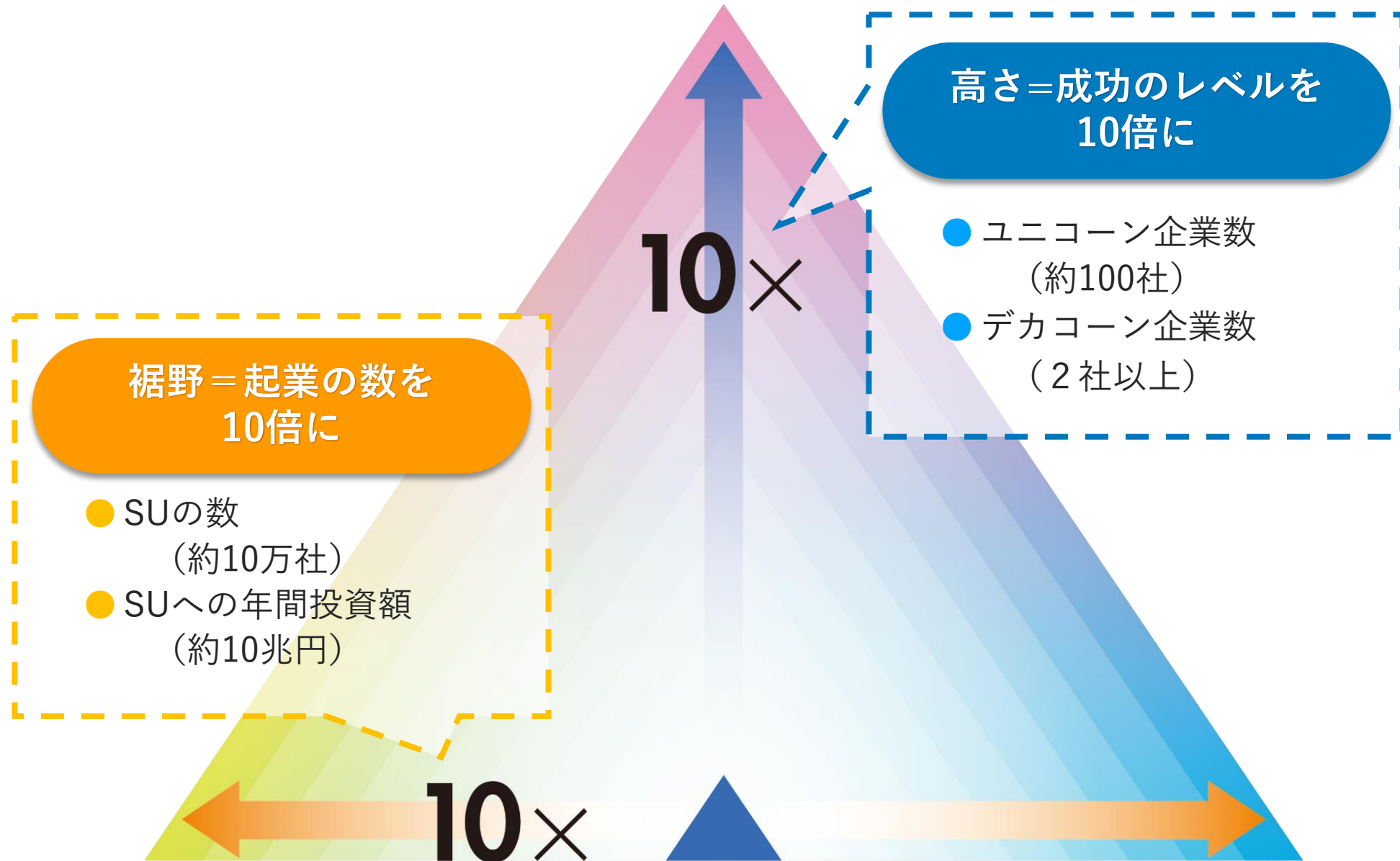
提言「スタートアップ躍進ビジョン」を公表

日本経済全体を浮揚させ、再度競争力を取り戻すための最も重要な課題として

スタートアップエコシステムの抜本的強化を提言

景気変動に関わらず、**官民を挙げて必要な施策を一斉に、迅速に、力強く推進**

2027年の目標：10X10Xの世界へ



5年後に起こすべき

7つの変化に向けた38項目 — 2027

1

世界最高水準のSUフレンドリーな制度

- エクイティの柔軟な活用が可能な制度の整備
- 各種行政手続の簡便化・コスト削減
- 規制改革関連制度の強化と周知、支援体制の確立
- 公共調達におけるスタートアップの更なる活用
- 共通知見横断ライブラリーの整備
- スタートアップとの契約の適正化
- 個人投資家の参入を促す環境整備
- ベンチャーデット産業の整備・促進

世界で勝負するSUが続出

- 政府系ファンド、機関投資家をはじめとした多様なプレイヤーによるスタートアップ投資の促進
- 大企業によるスタートアップのM&Aの活性化
- 事業のカーブアウト・スピンオフの加速
- 未上場株セカンダリーマーケットの整備
- グローバル展開を後押しする環境の整備
- グローバルアクセラレーションプログラムの更なる活用
- 国家レベルでの英語力強化
- 留学の促進

2

3

日本を世界有数のSU集積地に

- 世界有数のベンチャーキャピタルの誘致
- アジアの起業家・エンジニアの誘致
- グローバルトップ企業のアジア拠点の誘致
- 言語・教育・医療等スタートアップ外国人材向けの生活基盤の整備
- 優れた研究者を呼び込む知的財産権制度の確立

4

大学を核としたSUエコシステム

- 各大学が有する強みの特定・更なる強化
- 各地の強みに応じた世界トップレベルの産業クラスターの形成
- 大学による研究者・学生のスタートアップ起業支援
- ディープテック系スタートアップへの助成
- 地方銀行による積極的支援

人材の流動化、優秀人材をSUエコシステムへ

- 大企業の採用から経営層まであらゆるレイヤーの多様化
- 副業・兼業の推進、同業転職・起業の過度な制限の防止
- スタートアップへの人材派遣・交流の促進
- シームレスな労働移動を支える税制・法制度

5

6

起業を楽しみ、身近に感じられる社会へ

- 体系的なアントレプレナーシップ教育の実施
- 多様なキャリア・才能を育む教育・大学入試
- 起業を身近なものとする文化の醸成

SU振興を国の最重要課題に

- 国のトップによる明確なコミットメント
- スタートアップ振興政策の司令塔（スタートアップ庁等）の創設
- デジタル規制緩和の推進
- イノベーションフレンドリー企業への変容
- 企業変革の支援

7

躍進ビジョンが大きな動きを創出

2022年3月

経団連「スタートアップ躍進ビジョン」

2022年6月

「骨太方針2022」 「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」

自民党「スタートアップ育成5か年計画に向けた提言」

2022年11月

「スタートアップ育成5か年計画」

東京都「Global Innovation
with STARTUPS」

2023年5月

自民党「『スタートアップ育成5か年計画』の実現に向けた提言」

2023年6月

「骨太方針」 「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2023年改訂版」

2024年6月

「骨太方針」 「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2024年改訂版」

2024年9月

経団連「Science to Startup」

10X10X実現に向けたアクションの3本柱

提言活動

- ・ スタートアップ委員会・政策タスクフォースの開催
- ・ 政府施策に関する**レビューブックの発行**
- ・ **提言「Science to Startup」**
- ・ 経団連 Startup Summitの開催
- ・ 規制改革要望・税制改正要望による提言
- ・ 経済産業省研究開発・イノベーション小委員会をはじめとする政府関係会合への意見発出
- ・ **各地スタートアップとの意見交換**

大企業の行動変容

- ・ **スタートアップフレンドリースコアリング**の継続実施
- ・ CVCネットワーキング
- ・ 各種勉強会の開催（カーブアウト、ベンチャークライアントモデル（VCM）等）

大企業とSUの連携

- ・ ピッチイベント「**KIX**」の定期開催（2019年～、延べスタートアップ340社登壇）
- ・ 「**経団連 Startup Slack**」の運営

提言、レビューブック、スコアリングの結果等は経団連HPに全文を掲載しています
リンクは24ページをご参照ください

躍進ビジョンレビューブック2025を発行

- 躍進ビジョンの実現に向けて、2023年以降毎年、10X10Xの実現に向けた政策の実現状況や効果、残された課題をまとめたレビューブックを発行。
- 政府施策によるモメンタムの形成により裾野は着実に拡大。厳しい市況が続き資金調達額は横ばいだが、そうした中でも大型の調達案件が増加。
- ユニコーン企業数は年々増加しているが、高さを強力に引き上げるにはさらなる打ち手が必要。

(参考)

1社あたりの資金調達額傾向

	平均値	中央値
2021	2.6億円	4,610万円
2023	2.5億円	5,000万円
2024	3.1億円	7,760万円

(出所)

スタートアップ数 UZABASE「スピーダ」
フォースタートアップス「STARTUP DB」
年間投資額 INITIAL「Japan Startup Finance 2024」
ユニコーン企業数 CB Insights

裾野＝起業の数を10倍に

	スタートアップ数	年間投資額
2021	16,100社	8,827億円
2023	22,000社	8,139億円
2024	25,000社	7,793億円

高さ＝成功のレベルを10倍に

	ユニコーン企業数	デカコーン企業数
2021	6社	0社
2023	7社	0社
2024	8社	0社

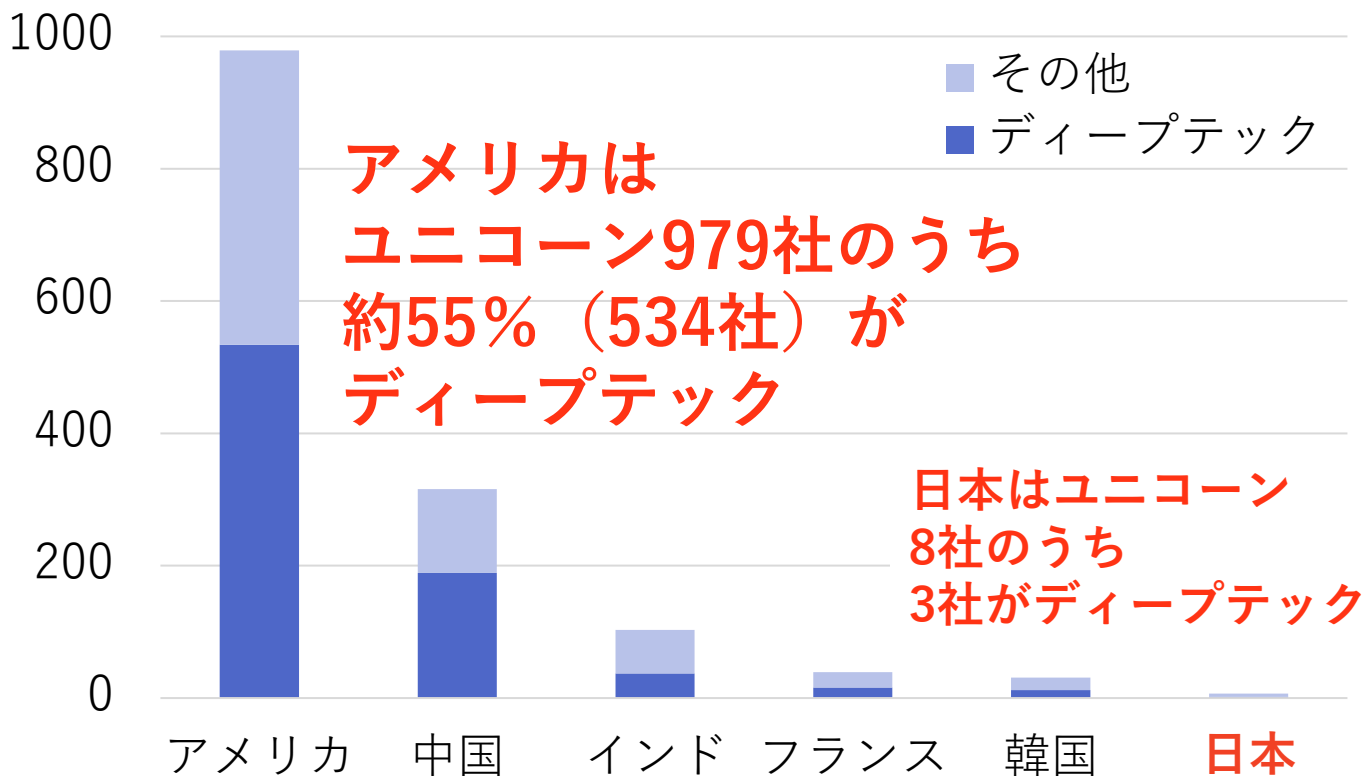
× 1.6

× 1.3

提言「Science to Startup」

- 高さを引き上げるためのカギは、ユニコーン級に成長するポテンシャルを秘めるディープテック。
- 日本の研究力の低下に対する指摘もあるが、世界に勝てる研究は多数存在。
しかしその強みをスタートアップを通じて社会実装するパスが未整備。
- そこで、**スタートアップを通じた高水準な研究の社会実装＝Science to Startup**の実現に必要な施策を提言。

ユニコーン企業数に占めるディープテック企業数の割合



Science to Startupのパス整備に向けた具体的政策

1. 大学の知の能動的な掘り起こし
(プロフェッショナルチームの組成支援)
2. 大学におけるモメンタムの醸成
3. カスタマーディスカバリーの導入
4. グローバルのパスを活用した成功事例の創出
5. 政府支援の効果最大化
6. より世界に開かれたエコシステムの形成
7. Science to Startupを加速する人材育成

各地スタートアップとの意見交換

- 地方経済団体との懇談会のため各地を訪問する機会をとらえ、その地域のスタートアップと懇談。（北海道・北陸・東海・四国・九州）
- **聞き取った意見・課題は政策提言の内容に反映。**
例：起業した教員・研究者が大学・学校に戻れるようにしてほしい。
なかなか経営者人材がおらず、採用に大きな課題がある。

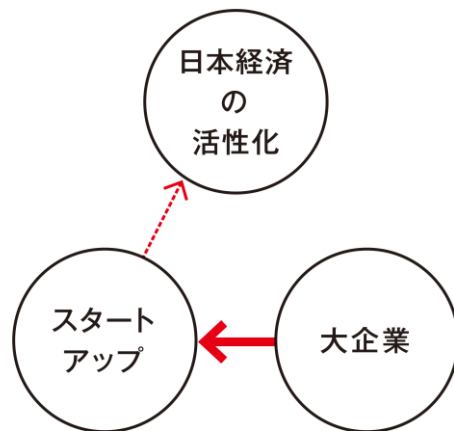


スタートアップフレンドリースコアリング

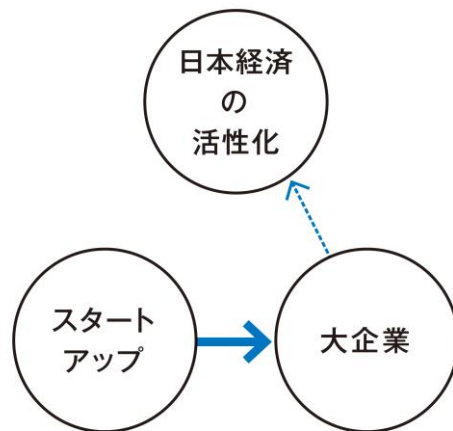
- 経団連が経済界全体の行動変容を促すべく策定した「スタートアップフレンドリースコアリング」は、アンケートへの回答（1,000点満点）によって**企業の活動を点数化**する取り組み。2022年度に開始。
- スコアリングを構成する3つの視点は、スタートアップエコシステムに重要であると同時に、**大企業がよりイノベーターになるために不可欠な観点**。
- 第1回150社、第2回148社、第3回111社が参加し**参加企業数は合計220社**となった。
- このうち**3回すべて参加した企業（フルエントリー企業）60社の平均スコアは、1,000点満点中373.9点→388.1点→403.2点と逡増**。大企業の行動変容が着々と進展。

経団連「スタートアップフレンドリースコアリング」の3つの視点

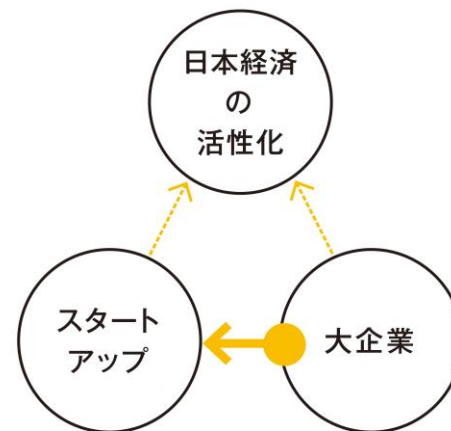
リソース提供
人材の提供、資金の提供、
製品・サービスの調達、業務提携



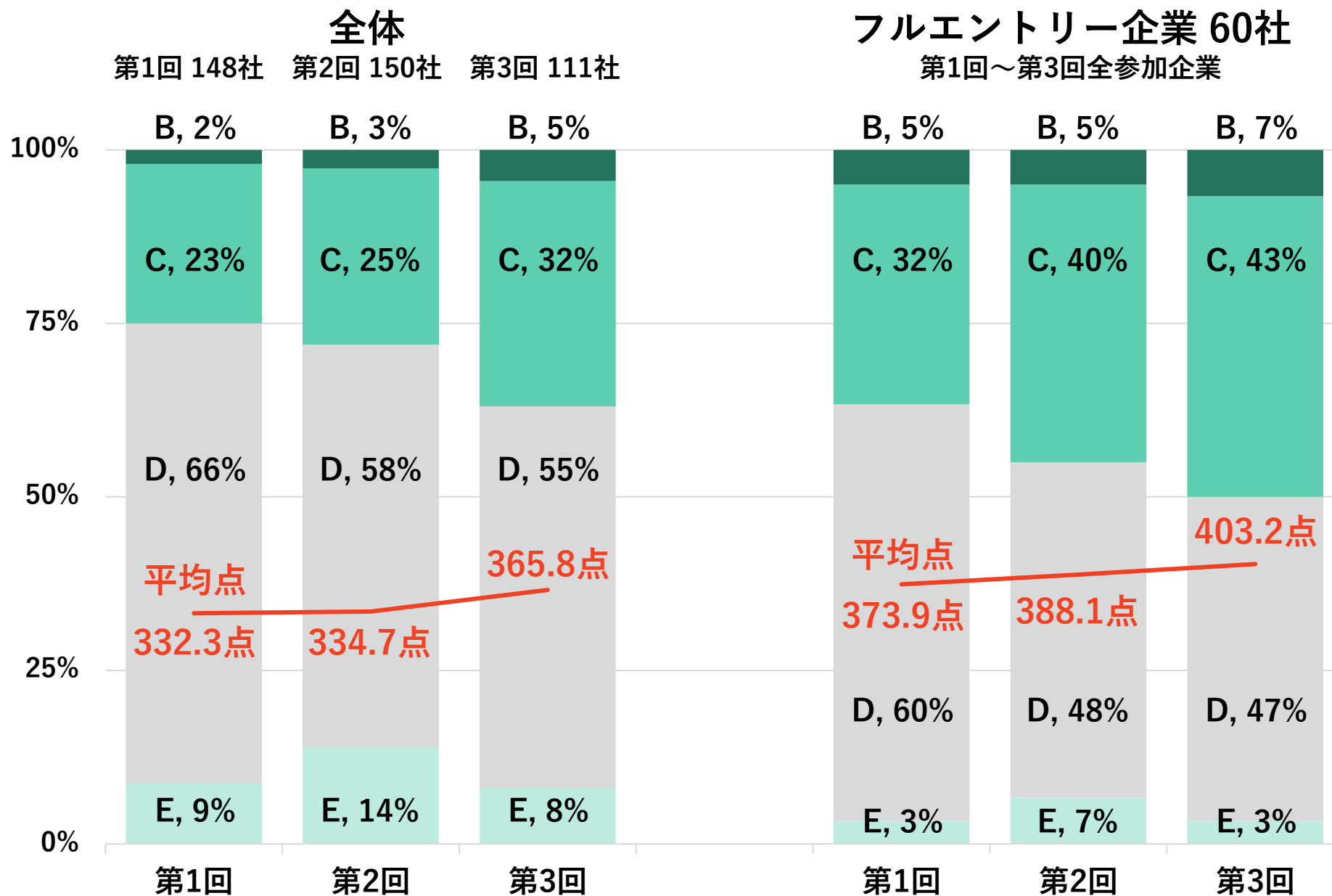
事業・人材の取り込み
アクハイア、M&A



事業・人材の輩出
カーブアウト、人材輩出



第3回スコアリングの結果概要



1	KDDI	<i>Tomorrow, Together</i> KDDI	6	 日立製作所	HITACHI
2	電通グループ	dentsu	7	三菱UFJ フィナンシャル ・グループ	 MUFG
3	BIPROGY	 BIPROGY	8	 日本電信電話	 NTT
4	三菱地所	 三菱地所	9	 日本電気	NEC \ Orchestrating a brighter world
5	ディー・エヌ・エー	:DeNA	10	TOPPAN ホールディングス	TOPPAN

これまでのスコアトップ10社

	第1回（2022年度）	第2回（2023年度）	第3回（2024年度）
1	KDDI	KDDI	KDDI
2	ディー・エヌ・エー	電通グループ	電通グループ
3	東京海上ホールディングス	ディー・エヌ・エー	BIPROGY
4	凸版印刷	BIPROGY	三菱地所
5	BEENOS	三菱地所	ディー・エヌ・エー
6	リコー	TOPPANホールディングス	日立製作所
7	第一生命ホールディングス	三菱UFJ フィナンシャル・グループ	三菱UFJ フィナンシャル・グループ
8	三井不動産	日本生命保険	日本電信電話
9	コマツ	東京海上ホールディングス	日本電気
10	野村ホールディングス	ANAホールディングス	TOPPANホールディングス

スコアリングご協力企業一覧 1/2

フルエントリー企業 第1回・第2回・第3回全てご回答いただいた企業

※HITACHIロゴは
日立製作所、日立ハイテクの順で掲載

IHI
Realize your dreams

Asahi**KASEI**

asics

Eat Well, Live Well.
Aj
AJINOMOTO

味の素株式会社

alue

NTT DATA

奥村組
OKUMURA CORPORATION

KG

兼松株式会社

Tomorrow, Together
KDDI

Kijima

KOMATSU

株式会社 **コングレ**

清水建設

住友化学
SUMITOMO CHEMICAL

住友生命

住友電工

SEKISUI

SEVEN & I HOLDINGS

株式会社 **セブン&アイ HLDGS.**

Always Security OK
ALSOX

SOMPO ホールディングス

Daiichi-Sankyo

第一生命ホールディングス

大成建設
TAISEI
For a Lively World

大和証券グループ本社
Daiwa Securities Group Inc.

田辺三菱製薬

CHUGAI
Roche ロシュ グループ

中外製薬

Energia 中国電力

DeNA

TDK

TOKIO MARINE

東京海上
ホールディングス

TORAY

戸田建設

TOPPAN

豊田通商株式会社

NS Solutions

NEC
Orchestrating a brighter world

日本生命
NISSAY

日本パークライジング株式会社
NIHON PARKERIZING CO.,LTD.

あしたを、つなぐ ― 野村不動産グループ
野村不動産ホールディングス

NOMURA

Panasonic

JR 東日本

東日本旅客鉄道株式会社

HITACHI

HITACHI

BIPROGY

FUJITSU

フジマホーム株式会社

Marubeni

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO

MS&AD

三井住友海上

SMBC

三井住友フィナンシャルグループ

mitsui & co.

三菱地所

MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

MUFG

三菱UFJフィナンシャル・グループ

MORI TRUST

YAZAKI

これまでにご回答いただいた企業

アイセロ アサヒグループホールディングス アステラス製薬 アズビル アスリテラ 伊予銀行 岩田商会
 ヴェオリア・ジャパン エイジェック エイチ・ツー・オー リテイリング ANAホールディングス SMBC日興証券
 SCSK NECソリューションイノベータ NOK ENEOSホールディングス 大林組 小野薬品工業 カシオ計算機
 カシワバラ・コーポレーション カヤバ 川崎重工業 関西電力 キヤノン キヤノンマーケティングジャパン 紀陽銀行
 共同印刷 グッドコムアセット グリーンモンスター グンゼ 建設技術研究所 弘電社 興和 国際自動車 コナミグループ
 コニカミノルタ 相模屋食料 山陰酸素工業 三十三銀行 三東工業社 サンフロンティア不動産 三洋化成工業
 JFEエンジニアリング JFEスチール ジェーシービー 塩野義製薬 四国銀行 静岡ガス 上海電力日本 新日本科学スズキ
 住友金属鉱山 住友商事 セイア 正興電機製作所 セイコーエプソン セイコーグループ 西武ホールディングス
 セブン-イレブン・ジャパン セブン銀行 双日 ソニーグループ ダイキン工業 大東建託 大日本印刷 大和ハウス工業
 TAKARA & COMPANY 竹中工務店 中央日本土地建物 中電工 千代田化工建設 TSUCHIYA 椿本チエイン TIS 帝人
 デンソー 電通グループ 東亜合成 東海東京フィナンシャル・ホールディングス 東京建物 東京電力ホールディングス
 東芝三菱電機産業システム 東洋製罐グループホールディングス 東洋紡 豊田合成 トランザクション トランスコスモス
 南海電気鉄道 ニコン 日油 日揮ホールディングス 日新運輸工業 日鉄興和不動産 NIPPO
 NIPPON EXPRESSホールディングス 日本カーバイド工業 日本精工 日本電信電話 日本特殊陶業 日本発条 日本化薬
 日本航空 日本ゼネラルフード 農林中央金庫 博報堂 白鳳堂 BEENOS 日野自動車 ファミリーマート フジクラ
 フジタ 藤田観光 富士電機 フジワラテクノアート 古河電気工業 北海道電力 ボッシュ 三浦工業 ミサワホーム
 三井化学 三井金属鉱業 三井不動産 三越伊勢丹ホールディングス 三菱HCキャピタル 三菱ガス化学 三菱重工業
 三菱マテリアル 三菱UFJ銀行 三菱UFJリサーチ & コンサルティング 明治ホールディングス メディパルホールディングス
 メルカリ ヤマハ発動機 ユアサ商事 UBE ユニチカ ユニ・チャーム 横浜銀行 ラック リケン リコー
 リンクアンドモチベーション ローソン ワタキューホールディングス ほか

スコアリングを受けるメリット

回答企業には自社の活動を可視化する
詳細な分析レポートを返送

1

自社の**ポジション**や**課題**を分析

2

自社の**活動のアップデート**や
方針策定の指針として利用

3

上位企業や事例集から
自社の**ベンチマーク**と**すべき企業**を発見



自社の取り組みが進んでいくなかで
スコアリングで回答する中身もどんどん良くなり、
社内もエンハンスメントされていく。
その延長線上で一番正しい姿が見えてくると思う。
日本を変えるには経団連が変わることが一番良い。

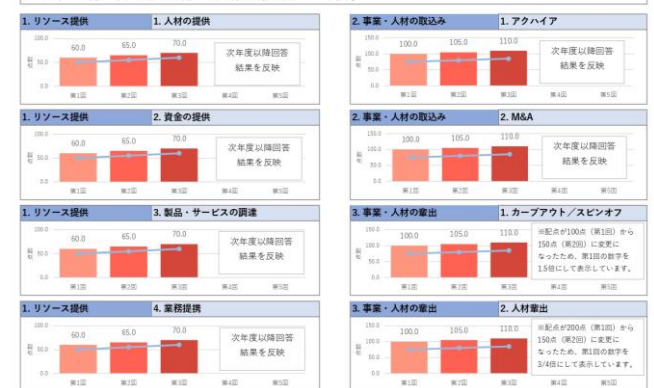
高橋誠スタートアップ委員長（KDDI会長）
経団連Startup Summit 2024（2024/5/27開催）にて



自社の回答と点数以外にも
設問ごとの採点基準、
平均点、業界平均点を明示
継続回答企業の場合は
中分類の点数の推移も掲載

中分類の点数の推移

※本ページでは、中分類の経年比較を通じて、自社のスタートアップへの取り組み度合いの変化を可視化することを目的としております。
自社の結果をご参照いただき、次のアクションに活かしていただくことを期待しております。
※棒グラフは貴社点数（グラフ上部に貴社点数）、折れ線グラフは業界平均点を表示しております。なおご回答いただけない年度は「N/A」となります。
※第1回（2022年度）から第2回（2023年度）では採点方法や配点が変更しております。



KIXの定期開催

大企業とスタートアップの連携を促進するため、大企業側の参加者を**意思決定権者（部長級以上）**とするピッチイベント「**Keidanren Innovation Crossing (KIX)**」を2019年10月から定期開催。2025年5月までに累計**50回**開催・延べ約**340社**が登壇。



対象分野の例	AI／データ分析 ロボット／ドローン／センシング ヘルステック・バイオ SaaS	農業・食品 宇宙 HR Tech クリエイティブ etc
コラボレーション先の例 (五十音順)	ILS（イノベーションリーダーズサミット） 大阪産業局・ナレッジキャピタル 沖縄科学技術大学院大学 チャネルベンチャーズ 九州経済連合会 京都大学 Google 経済産業省（J-Startup） CiP協議会 シリコンバレー・ジャパン・プラットフォーム ゼロワンブースター	東京工業大学（現：東京科学大学） 東京証券取引所／日本取引所グループ 東京大学・東大IPC 東北大学・東北大学ベンチャーパートナーズ Beyond Next Ventures フォースタートアップス 福岡県 Plug and Play 北海道大学 リアルテックホールディングス etc

KIXの模様



進行：齊藤昇 企画部会長
(BIPROGY社長)

第1回 2019/10/1

VISITS Technologies
松本CEO



第9回 2022/5/24

Wamazing
加藤代表取締役CEO



第4回 2020/1/30
with J-Startup

シナモン 平野CEO



第6回
2021/12/10

グリーンエース
石川社長



第20回
2023/9/13

With Midwife
岸畑代表取締役



KIXの成果

- ピクシーダストテクノロジーズ・塩野義製薬は、認知症予防・認知機能改善の可能性を持つ「ガンマ波サウンド」を共同開発。
- 両社の出会いは、2019年10月開催の第1回KIX。2025年4月現在では、業界を越えた5社と連携。

PxDT/塩野義グループこれまでのあゆみ

出会いから3年半、共同研究開始から約2年で第1弾、約4年で第2弾製品化に成功。



経団連Startup Slack

活発なスタートアップ関連活動の結果、KIX登壇スタートアップ約340社、CVCネットワーキング会合出席CVC約50社、ほか各種スタートアップイベント共催パートナー等と幅広いネットワークを構築

スタートアップ・経団連会員企業・大学・VCなどによる
オンラインコミュニティ

「経団連Startup Slack」を2023年12月オープン
すでに約550名が参加（2025年4月時点）

経団連 Startup Slackでできること

- 経団連からの案内を直接タイムリーに受信
- 自由な情報発信、イベント・企画等の宣伝
- イベントへの登壇応募、連携・相談相手募集
- 行政の支援情報、お役立ち情報の入手

※ 1社あたりの登録人数上限なし、登録・利用費用無料

経団連Startup Slackの利用イメージ

利用者層

※参加登録フォームの情報より算出



その他 5%

- VC・CVC
- 支援機関
- 大学
- 自治体

利用画面イメージ

経団連 Startup Slack

00_はじめに-サイトマップ

2023年12月4日

経団連スタートアップ担当さんがピン留めました

経団連スタートアップ担当 17:54

「経団連 Startup Slack」へようこそ！はじめにお読みください。

📌 お名前変更のお願い

表示名を「組織名_お名前（フルネーム）」にご変更をお願いいたします。

📌 ご利用にあたって

- ① このSlackはスタートアップエコシステムの活性化のために立ち上げました。まずは「01_自己紹介」チャンネルで自己紹介をお願いします。ぜひ積極的に投稿・交流いただき、一緒に盛り上げてください！
- ② ご参加は、経団連会員企業のほか、イベントへの登壇・参加等で経団連と接点のあるスタートアップ・行政・大学・VC等に限定しています。
- ③ このSlackへの参加を第三者に勧めていただくのは大歓迎です！参加ご希望の方には、登録フォームをお伝えください。
- ④ 本ワークスペースに投稿された情報・コンテンツ等の転載・複製・改変等、ならびに各メディアや媒体等への一切の掲載を禁じます。
- ⑤ 無理な営業活動、機密情報・個人情報の不適切な取扱い等の不適切な投稿・行為が見られた場合は、事務局より退会処分を取らせていただきます。あらかじめお含みおきいただきますようお願いいたします。

📌 チャンネルの説明

チャンネル名に「kdr」と入っている場所の投稿は、すべて経団連がお送りするものです。その他のチャンネルでは、自由に投稿・交流いただけます。

10番台はイベント案内、20番台は募集・相談、30番台はスタートアップフレンドリースコアリング、40番台はTips共有のチャンネルです。各チャンネルの詳細は添付画像をご覧ください。

参考リンク

- スタートアップ委員会活動 特集ページ
<https://www.keidanren.or.jp/policy/StartUp.html>
- 提言「スタートアップ躍進ビジョン」 (2022年3月)
<https://www.keidanren.or.jp/policy/2022/024.html>
- 提言「Science to Startup」 (2024年9月)
<https://www.keidanren.or.jp/policy/2024/060.html>
- 躍進ビジョンレビューブック2025 (2025年5月)
<https://www.keidanren.or.jp/policy/StartUp/reviewbook2025.pdf>
- スタートアップフレンドリースコアリング
<https://www.keidanren.or.jp/policy/StartUp.html#scoring>
- 第3回スタートアップフレンドリースコアリングの結果概要 (2025年5月)
<https://www.keidanren.or.jp/policy/StartUp/scoring-kigyo2024.pdf>
- Keidanren Innovation Crossing (KIX)
<https://www.keidanren.or.jp/policy/StartUp/KIX.html>

お問い合わせ先

経団連 産業技術本部（スタートアップ担当）

venture@keidanren.or.jp

経団連スタートアップページ

